

# 古文書からわかる江戸時代の一宮の村社会

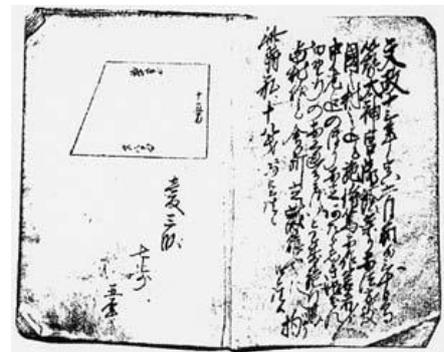
江戸時代も後半になると、各村にはたいてい寺子屋などができて、村々に住む人々といえども、読み書きができるようになってきました。

特に庄屋や、百姓の中でも頭百姓といった支配者階級に属する村民たちは、代官所とのやりとりなどの複雑な仕事も手掛ける事務能力を持ち、また詩歌などの文化的教養も高い人々も珍しくなかったようです。

そういった人々が残した文書が、一宮でも民家に数多く残っていました。それらの文書は、流れるような毛筆で、なおかつ文語文で書かれていて、江戸時代の庶民の教養の高さを知ることができますが、今の私たちではとても読むことができません。

ですが、この庶民が書いた古文書からは、家族関係、若者組、祭礼についてなど、生き生きとした人々の暮らしを知ることができます。

一宮市文化財保護審議会委員であり、古文書の講読を一宮市博物館で指導していらっしゃる小川一朗先生は、長年一宮市史や木曾川町史の編纂にもたずさわっておられ、一宮周辺に伝わる古文書について、たいへんよくご存じです。その小川先生から、これまでに調べてこられた古文書からわかる江戸時代の一宮の人々の暮らしについてのお話をお聞きしたいと思います。



## ◆いちのみや大学講座「古文書からわかる江戸時代の一宮の村社会」

- ・日時：3月7日（日）午前10:30～12:00
- ・場所：一宮市スポーツ文化センター 3階第5会議室  
一宮市真清田1丁目2-30 TEL:0586-24-1881（代）
- ・会費：1000円 ・定員：20名
- ・駐車場：有料駐車場あり
- ・申し込み：ホームページから  
<http://ichinomiyaigaku.com/>  
インターネットをご利用でない方は、メールまたは、  
FAX（0586-72-5445）にてお申し込みください。
- ・申し込み締切り：開催日前日まで。  
キャンセルの場合も前日までをお願いします。



いちのみや大学

検索

※お問い合わせは、

有限会社人の森気付け いちのみや大学事務局 TEL:0586-72-5445  
メール: [info@ichinomiyaigaku.com](mailto:info@ichinomiyaigaku.com) までお願いします。



携帯の方は  
QRコードをご利用  
ください。

「いちのみや大学」は、市民による「大学」です。この一宮の街のあちこちが、まるごとキャンパスです。学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。生涯学習を推進する市民による活動団体です。

いちのみや大学事務局(有限会社人の森内)

一宮市大和町宮地花池字中道4 アートメゾン 103号

tel/fax:0586-72-5445 mail: [info@ichinomiyaigaku.com](mailto:info@ichinomiyaigaku.com)

# いちのみや大学ってどんなもの？

## ◆いちのみや大学とは

いちのみや大学は、学校教育法上で定められた正規の大学ではありません。

一宮の街をまるごとキャンパスにして、自分たちで生涯学習の場をつくらうというものです。

いちのみや大学の講座は、地域の人たちから講師を発掘することから始まります。

一宮市は、古くは尾張の国一宮として栄え、近代は繊維の街として、ガチャマンと呼ばれおおいに沸いた時代もありました。古墳・城跡などの歴史的な遺跡や伝統的な祭り、また喫茶店のモーニングサービス、七夕祭りなど、さまざまなカルチャーが存在します。

人口も38万人となり、一宮には様々な知識や技術を持った人たちがいると思います。そうした市民を発掘し、市内の様々な場所で、市民が受講料を払って授業を受けようという仕組みです。

そして地域の人に講師をお願いすることにより、地域を活性化し、受講者と講師との間に新しい繋がりが生まれることを期待しています。

いちのみや大学はどなたでも参加できますので、お気軽にご参加ください。

## ◆参加方法

参加方法としては、あらかじめ、いちのみや大学のホームページ <http://ichinomiyaigaiku.com/> の学生登録のページで学生登録(受講者登録)をしておき(無料)、その後、各講座情報のページにおいてログインし、受講したい講座に受講の申し込みをします。

(インターネット環境がない、もしくは不慣れな場合は、電話、fax、メールなどでも受付しています。)

受講料は講師謝金や会場費などの必要な経費を考慮して講座ごとに決定しています。それぞれの講座情報のページをご覧ください。

## ◆これまでの講座

- ・芸術学部 デジタルカメラ入門・一眼レフカメラ講座(会場:つくる。)  
バイオリンの魅力を探る・アフリカのとんぼ玉・織部亭亭主のお話(会場:織部亭)  
野の花の大島八重子さんのお話とシャンソン(会場:野の花)
- ・社会福祉学部 一宮のホームレス支援とその現場 (会場:アバンセ)
- ・国際学部 イングランドのパブ文化(会場:本町)



## ◆これからの講座

- ・芸術学部 2010/2/28(日)pm2:00～ 西アフリカの音楽～太古の響きジェンベの音色  
(会場:スポ文)
- ・歴史学部 2010/3/7(日)am10:30～ 江戸時代の一宮の村社会 (会場:スポ文)  
3/31(水)am10:00～ のこぎり屋根の織物工場見学と玉の井散策  
(会場:葛利毛織)

いちのみや大学事務局(有限会社人の森内)

一宮市大和町宮地花池字中道4-アートメゾン 103号

tel/fax:0586-72-5445 mail: info@ichinomiyaigaiku.com